



《笑顔でチャレンジ!》

学校だより

上越市立下黒川小学校

第 8 号 (9月号)

平成30年9月25日発行

<http://www.shiMokuro.jorne.ed.jp/>



《あいさつ》は 笑顔をつくる

校長 岩下 伸子

「おはようございます!」

元気にスクールバスから降りてくる子どもたちの第一声。元気いっぱい、笑顔いっぱい。大きく手を振り、明るい声であいさつをする子がいます。中には、ちょっと下を向き、伏し目がちで、小さな声であいさつをし、通り過ぎていく子もいます。あいさつを忘れ、ゲームの話をしながらバスを降りていく子もいます。

あいさつの仕方は十人十色。その日の気分で、テンションが高かったり低かったり、少し違うようです。また、《慣れる》ということも大事なようです。

『柿崎総ぐるみあいさつ 1,000 人大運動』期間中、初日は緊張していた子どもたちも、最終日はノリノリでハイタッチしながらあいさつしていました。

子どもたちのあいさつは、魔法の言葉。不思議な力があります。ケンカをしていますが、あいさつをすると仲直りができます。イヤな気分するときも、あいさつをするとスッキリします。元気が出てきます。

《^{がっこういち}学校一のあいさつ名人》は 2 年生。大きな声であいさつをしながら校舎中を回ってくれます。遠くからでも教師の姿を見付けて、「〇〇先生、おはようございます!」と、ニコニコ手を振ってくれます。手を振られた教師は笑顔になり、2 年生に負けなくらい大きく手を振り、「◇◇さん、おはようございます! あいさつ、ありがとうね」と返します。

子どもたちの元気なあいさつは、周りの大人をも笑顔にします。「今日も一日がんばるぞ!」と、パワーが出てきます。子どもたちの笑顔に助けられた保護者の皆様も多いことでしょう。

《学校二のあいさつ名人》は、1 年生と 6 年生。最高学年の 6 年生は、学校中にあいさつの輪を広げようとがんばっています。1 年生は、2 年生に負けまいと校舎を回りながらあいさつをしています。今はヤギの『あおぞらくん』のお世話をがんばっているの、大忙しの 2 年生です。3・4・5 年生も、笑顔いっぱいのあいさつをしようとがんばっています。ご家庭や地域ではいかがですか? 《あいさつ》で、笑顔が広がっていくといいですね

8月29日(水)『第2回学校運営協議会』を開催しました。

学校だより第7号(8月号)でお知らせしました「1学期の学校評価」の報告と、2学期以降の教育活動について、全体で協議し、プロジェクトごとに熟議しました。その後、『文化祭わくわく体験』について、学校担当者とCS担当者とブースの打合せをしました。どうぞ、文化祭をお楽しみに！



《かかわりあい…心プロジェクト》

・「あいさつ」について、子どもたち自身がどのように考えているのか、自分のあいさつを振り返り、取り組んでいけるように工夫する。『柿崎総ぐるみあいさつ1,000人大運動』をきっかけとし、運営委員会が中心となって心班ごとに取り組めるようにする。家庭でもあいさつの輪が広がるように呼び掛ける。

《まなびあい…まなびプロジェクト》

・「進んで学習」「読書」など、家庭がポイントとなる。「学力」「読書」は、家庭も巻き込んで、共に進めていく。
 ・2学期の読書週間では、家庭読書を呼び掛けたい。
 ・下黒川小は宿題が多い。宿題はやらなければいけないと子どもたちも取り組んでいる。そのことが学力向上につながり、毎年「全国学テ」でも全国や県平均を上回っている。しかし、全てについて「進んで行うこと」を求めなくてもよいのではないかと。子どもが自信をもって取り組めることが大事。

《きたえあい…からだプロジェクト》

・TKBなどの学校での取組を家庭や地域に紹介し、メディアコントロールについて子どもたち自身が考えていけるようにしていく。
 ・体育的行事にCSも協力していく。子どもたちの体力向上を支援する。

《その他》

・猛暑、酷暑の中、子どもたちはよくがんばって活動し、学習している。学習環境を整えるのは大人の責任。エアコンを設置してもらえるようにCSも、地域も働きかけていきたい。



《柿崎総ぐるみあいさつ1,000人大運動》

9月11日(火)～14日(金)は、《柿崎総ぐるみあいさつ1,000人大運動》がありました。

地域の皆様、保護者の皆様、中学生に迎えられ、初日は緊張していた子どもたちも、「おはようございます！」と大きな声であいさつしながら登校することができました。

あいさつは《心と心のコミュニケーション》。

大声を張り上げ、怒鳴って言う必要はありませんが、相手に聞こえる声の大きさと、相手を見て行うことが大切です。4日間の運動を通じ、下黒川小学校の子どもたちのあいさつが一層よくなり、心班で立てた目標もクリアできました。



『柿崎総ぐるみあいさつ1,000人大運動』初日、玄関にはたくさんの方が集まってくださいました。そんな人混みの中を子どもたちはドキドキしながら通りました(職員もドキドキしながら通ります)。人混みに慣れる(?)ことも、大切かもしれませんね。

A班	相手を見て、元気よくあいさつを返そう
B班	自分から明るく大きな声であいさつしよう
C班	相手より先に聞こえる声であいさつをする！
D班	あいさつを笑顔で一日20回以上する
E班	大きな声でとこでもだれにでも進んであいさつする

期間は終了しましたが、今後ともステキなあいさつが交わされるといいですね。

下黒川小学校では、引き続き、心班で立てたためあてに向かって、《あいさつ運動》を実施します。保護者の皆様、「いってらっしゃい！」と元気よくお子さんを送り出してください。脳の活性化が図られ、すっきりした1日がスタートできるはず。そして、『マラソン・駅伝大会』や『文化祭・ダンスフェスティバル』に向け、子どもたちのパワーも充電されることでしょう。



地震・津波・原子力災害 ≪保小連携避難訓練≫

毎年、防災の日に合わせて、下黒川保育園さんと合同で避難訓練を実施しています。

今年も、9月3日(月)に昨年同様、震度7の地震後、津波警報発令、原子力災害のトリプル訓練を実施しました。

- ①大地震発生…児童は机の下に入り、頭や体を守ります。
- ②揺れは収まったが余震が心配なので、「グラウンドに避難」。(避難に要した時間2分)
- ③大地震のため、津波が発生。津波警報が発令された想定で、「屋上へ避難」。高学年児童は保育園児と手をつなぎながら屋上へ移動。(避難に要した時間3分)
- ④屋上で避難していると、原子力災害発生で、「屋内退避」。ブラインドを下ろしたコンピュータールーム。窓から離れて中央に小さくなって集合。(避難に要した時間2分)

避難の様子を、防災士の佐藤健さんからご指導いただきました。「落ち着いて行動していたこと」「保育園児の手を引きながら上手に避難できていたこと」などを褒めていただきました。

猛暑、水害、台風、地震、あらゆる災害が私たちに襲います。不安に思っている子どもたちも多いようです。

9月6日午前3時8分頃、北海道胆振地方中東部を震源とするM6.7の地震があり、北海道安平町で震度6強の揺れを観測。津波の被害はありませんでしたが、土砂崩れや液状化減少などで甚大な被害が出ています。

前々日の9月4日には台風21号が近畿、四国を中心に大きな被害をもたらしました。

8月28日は川の増水のため桜町新田、直海浜に避難勧告が出され、下黒川小学校が避難所となりました。大きな被害とならず、避難されてきた3名の方も自宅に戻ることができました。良かったです。避難所になった場合、災害物資等は備蓄されてありますが、体育館には体育用のマットとパイプ椅子しかない状況です。

9月4日の台風21号に対して、市内全小中学校が一齐に『14時下校』とPTAメールで配信しましたが、その際、12:30に配信した内容が届いたのは19:36でした。システム管理会社により原因究明中ですが、システム上、サーバーの容量を大幅に超えたことによるようです。午前中、当校が9:27に「15:05一斉下校」のPTAメールを配信した際は9:28に届きました。わずか2,3時間でサーバーがパンクしたようです。

12:30 配信のPTAメールが届かないことが分かったので、おうちの方がいらっしゃらず留守になる心配のある家庭には電話で連絡させていただきました。当校ホームページにも「台風21号のため、集団下校」をアップしました。今後、非常事態の際には、ホームページや電話連絡網を活用させていただきたいと考えています(近日中に電話連絡網配布予定です)。

活用できるものを全て活用し、子どもたちの安全安心を確保したいと考えています。

なお避難訓練の際、児童の引き渡し訓練等を実施する学校が多いですが、当校は体育館が避難所であることから、登校後の自然災害等非常時の場合(スクールバス等運行不可)は、学校でお子さんをお預かりしたいと考えます。何かありましたら学校へご連絡ください。電話等の連絡手段が使えない場合は学校にお立ち寄りください。 **基本はPTAメールです!**



上越市小学校親善陸上大会



ブロック親善水泳大会入賞者(7/26)

- ・100M 男子個人メドレー4位 日本 慧埜さん
- ・50M 女子背泳ぎ2位 曾田 果矢さん
- ・50M 女子背泳ぎ5位 関本果穂子さん
- ・50M 男子背泳ぎ2位 檜出 昂汰さん
- ・50M 男子バタフライ1位 日本 慧埜さん
- ・50M 女子平泳ぎ5位 小山 紗来さん
- ・男子200M リレー4位

日本慧埜さん山賀海舟さん吉井煌さん檜出昂汰さん

上越市親善陸上大会入賞者(9/20)

・入賞者はいませんでした。
しかし、全員、自己ベストを更新しようとがんばって
いました(上越市内小学校53校の児童が参加)。
トラック競技は(100M、200M、800M、80M ハー
ドル、400M リレー)、タイムを縮めることができました。
フィールド競技(高跳び、幅跳び)は、記録を更新し
たり、逆にタイミングが合わずに記録なしになったりし
ていましたが、真剣に競技に向かう姿が立派でした。

児童数が少ない下黒川小学校では、全員が選手です。

どの大会も、得意・苦手にかかわらず、全員が選手として参加します。

自分が参加する種目に精一杯力を発揮し、がんばる！ そして、参加種目以外でも、精一杯力を発揮し、喉をからして応援する。そんな下小っ子の「爽やかな姿」が素晴らしいです。

これからの時代を生き抜く、未来ある子どもたちには、体力と持久力、精神力を付けて、たくましく進んでいってほしいと思っています。

10月10日(水)には『マラソン・駅伝大会』があります。

体育の時間や休み時間に練習し、その成果を発揮し、当日、走り切ります。保護者の皆様や地域の皆様、下黒川保育園の園児さんたちの応援が子どもたちのパワーとなります。

どうぞグラウンドや沿道でのご声援を、よろしくお願いいたします。

10月27日(土)文化祭・ダンスフェスティバル

作品展示・ダンスフェスティバル・地域芸能発表会・わくわく体験活動・PTAバザーと、盛りだくさんの内容！ 子どもたちはただ今、準備の真最中！

作品は完成に向け、仕上げの段階です。力作が勢ぞろい！ どうぞお楽しみに！

ダンスも振付がほぼ出来上がり！ 今後、上教大ストリートダンス部の皆さんからご指導を受けて完成させ、心班での練習が始まります。乞うご期待！

《わくわく体験活動》は8つのブースが決まりました。子どもたちの体験が充実するように、お手伝いの方を募集します。ボランティアとして手伝ってくださる方がいらっしゃいましたらご連絡ください。今年度もCS委員の皆様がブースと一緒に担当してくださいます。ジュニアリーダーの皆さんも手伝ってくださる予定です。《わくわく体験活動》の輪が、どんどん広がっていきます。嬉しいことです。

5年生の田んぼも順調！ 美味しいお米を皆様に食べていただきたいと準備を進めています。間もなく稲刈りをします。どうぞお楽しみに！

PTAの皆様もバザーに協力して下さり、盛り上げてくださいます。着々と準備を進めてくださっています。おいしいうどんを是非どうぞ！